

# 支え合い、喜びを分かち合える最高の学校



自主・不屈・創造

10月号

嘉麻市立稲築東義務教育学校

令和7年10月1日

文責 校長 三浦 風弥

## 稲東通信

### 全国学力・学習状況調査の結果について

令和7年4月17日(木)に実施しました、本校6年生(前期課程)と9年生(後期課程)対象の「全国学力・学習状況調査」の結果が返ってきました。(データは次号で掲載予定)

この結果を受けて、改めて「なぜ勉強をしなければいけないのか」勉強する意味を知る1つの話『コップの中の水が教えてくれたこと』を皆さんに紹介します。

「何で勉強をしなくちゃいけないの？」誰もが一度は思ったことがあると思います。「なんでこんなこと、覚えなきゃいけないの?」「将来使わないじゃん」と。

でもあるとき、大人が目の前にコップを置いて

「もし君が何も学ばなければ、この中にあるのは“ただの水”で終わるよ。でも、勉強すればこのコップの中から、世界全部が見えてくるようになるんだ。」と言いました。

「算数・数学」を学べば、この中に200mlの水があるというように、数字で“見える”ようになります。料理をするときも、運動で水分補給をするときも、とても大事な力になります。

「理科」を学べば、この水は水素と酸素からできていることが知ることができます。水ってただの透明な液体じゃなく、ちゃんとした“しくみ”を知ることができます。

「生活・社会」を学べば、水は川や湖、雨、ダムなどを通じて家に届くことがわかります。日本では蛇口をひねればすぐに水が出ます。でも、それは当たり前じゃない。世界にはこのきれいな水を飲むことができない人たちがいることを知ることができます。

「図画・美術」を学べば、光の反射、影のつき方、透明感などを学びます。水がキラキラして見えるのはなぜか、目で見たものをどう表現するかがわかってきます。

「音楽」を学べば、水から音を生み出せ、同じコップでも水の量で音を変えられることにも気づけます。

「工作・技術」を学べば、このコップがどんな素材でなぜ漏れないかがわかり、人の“創造”の凄さを知ることができます。

「保健体育」を学べば、この水が体にどれだけ大切なのか健康を支える命の正体が見えてきます。

「道徳」を学べば、水を“誰かと分ける”気持ち育てられます。水が大切だと知れば、「誰かにも分けてあげよう」と思えるようになります。道徳を学ぶことで、思いやりや優しさの心が育ちます。

「国語」を学べば、今私が話した“全部の意味”を“正しく”理解できるようになります。

「英語」を学べば、この話を世界中の人に届けられるようになります。

そして英語が話せれば、今日の話を世界中の人に伝えられます。

もし、どの勉強もしていなかったら、このコップにあるのはただの「水」で終わります。でも、学びがあれば、この水は世界とつながる入り口になる可能性があります。

勉強は確かに大変なときもあります。でも、ひとつひとつの学びが、世界の見え方を変えていきます。もし今、何のために学んでいるのか迷っている人がいたら、今日の「水の話」を思い出してください。

今年度の合唱コンクールのスローガンと運動会のめあてを紹介します。

合唱コンクール 児童生徒会スローガン

## 一声風靡～この合唱コンに一片の悔いなし～

運動会2025のめあて

## 全力・協力・楽しむ～みんなが笑顔になる運動会にしよう～

前期課程、後期課程の子どもたちは、それぞれの行事を成功させるために練習を頑張っているところです。当日の発表等を楽しみにしててください。

## 10月の主な行事予定

月	日	曜	主な行事予定	月	日	曜	主な行事予定
10月	3	金	合唱コンクール(7～9年)	10月	21	火	児童生徒会専門委員会
	7	火	代表委員会		23	木	運動会予備日
	16	木	1年ミムテスト		24	金	代休(1～6年) 修学旅行事前指導(8年)
	17	木	IBAテスト(7～9年)		25	土	修学旅行(8年)～27日
	18	土	運動会準備(1～6年)		28	火	代休(8年)
	19	日	運動会		29	水	代休(8年)
	20	月	代休(1～6年) 教育相談週間(7～9年)		31	金	秋の遠足(1～6年)

## 校長コラム②

みなさんは『ウサギとカメ』のお話を知っていますね。そう、ウサギとカメが山のふもとまでかけくらべをし、カメが勝つお話です。

ところで、『ウサギとカメ』のお話で、「どうしてウサギは負けたのでしょうか」とみなさんに聞くと、だれもが「途中でウサギが居眠りをしてしまったから…」と答えますが、本当はそうではないのです。実はこのお話には別の意味が隠されているのです。

もともと、ウサギとカメでは、生まれたときからくらべものにならないほど、走る速さは違っているのはわかっています。その二匹にどうして速さくらべをさせたお話にしたのでしょうか。そこには、みなさんにぜひとも知ってほしい大切なことが含まれているのです。

カメは自分が遅いということはちゃんと知っていました。しかし、自分の目標をウサギに勝つことではなく、山のふもとまで行き着くことにしました。そして、目標に向かって最後までがんばる自信があったのです。

一方、ウサギはカメに勝つことだけに目標をおきました。ウサギは自分の足の速さを自慢するくらいですから、楽勝だと思っていました。そして、自慢する気持ちが油断となって、「居眠り」をしてしまったのです。

カメは自分の能力とウサギの能力を決してくらべませんでした。もし、「速さ」ということでウサギとくらべたら、「かなうはずがない」と競争はしなかったでしょう。しかしカメは、自分はゆっくりでも最後までがんばれるというよさを信じて競争に臨んだのです。

みなさんも、勉強のことや運動のことで、友だちとくらべたりしないで、自分のよさを十分生かして努力してください。

